

目 次

2007年度事業関係

事業概況報告 5

事業内容

【1】事業活動 8

【2】組織と運営 24

2008年度事業関係

【1】本年度事業計画の概要 27

【2】事業活動 30

【3】組織と運営 32

2007年度決算報告および2007年度予算

【1】貸借対照表 33

【2】収支決算表 34

特定非営利活動法人 寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター

* 2007年度事業報告と2008年度事業計画について

..... 36

会 員 関 係 45

* 2007年度運営委員名簿

* 2008年会員名簿

寝屋川市民たすけあいの会会則 48

特定非営利活動法人 寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター定款

..... 51

寝屋川市民たすけあいの会のあゆみ 62

寝屋川市民たすけあいの会 2007年度事業概況報告

寝屋川市民たすけあいの会は、1978年5月に設立以来、市民の手により主体的につくられた寝屋川ボランティア・ビューローを拠点として、様々な地域活動を行ってきた。

2007年度に実施した当会の事業活動概況は次のとおりである。

2007年度は、数年来の課題である、たすけあいの会が「サービス事業所としてのたすけあいの会」、「ボランティア・ビューローとしてのたすけあいの会」、そして「会員組織としてのたすけあいの会」の3つの側面の点それぞれについて、一定の見直しと今後の展開を含めての試行錯誤を続けた年であった。2007年度は、障害者自立支援法が本格施行になり、一定の落ち着きが見えてきた。

まず、事業部門においては、2000年から事業をはじめ、2003年度の支援費制度の施行にあわせた障害者支援の事業化によって事業部門は完成を迎えた。介護保険の基準該当事業者の取得から始まり、事業部門を担う「NPO法人寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター」の設立、法人格取得。法人事業として身体障害者相談事業である市町村障害者生活支援事業の委託、精神障害者のホームヘルパー事業の補助。2003年支援費制度の施行により、日中活動の場が、基準該当の身体障害者デイサービスに、そして、障害者ヘルパーの派遣の事業所になった。地域生活支援をささえる市民参加のセンターとして、小規模多機能を標榜し相談・訪問・日中活動の場を持つことになった。

しかし、介護保険にはじまった制度改革の波によって、報酬の改定=引き下げや制度改正により、大きな減収を余儀なくされることになった。特に障害者支援関係は、制度改正に併せ、障害者自立支援法の枠組みの中で再編を行った。結果、障害者相談支援事業、日中活動の場としての地域活動支援センター、そして、すべての事業指定（居宅介護、行動援護、重度訪問介護、重度障害者等包括支援）をとったヘルパーステーション、として再編を終えた。しかしながら、これらの拙速な変化は、内部組織的に大きな課題を抱えてしまっている。

次に、ボランティア・ビューロー、市民組織としてのたすけあいの会は、ボランティアや市民活動をとりまく状況も大きく変わって来始めている中で、関係団体との新たなネットワークを模索し、再構築を模索し始めている。また、新しい動きであるNPO活動にも一定参画し、活動を行っている。

一方で、在宅ボランティアやボランティア・コーディネーターなどについては、課題が山積みのままで、有効な対策がうてていない。また、ボランティア・ビュー

ローとしてのたすけあいホームのあり方についても、検討を行い、徐々に整理を行っている。新しくはじめて「そらどみ」などは、ボランティアの継続的な参加も多く、今後につながっていく取り組みとして可能性を感じている。

最後に、会員組織としてのたすけあいの会については、昔からの会員さんの高齢化の問題が表面化し、会員さんの入れ替えの時期にさしかかっている。また、事業が前面にでていることもあり、組織的には脆弱化している部分があるのも否めない。しかし、昔からの会員さんの交流会やミニデイ（たすけあいサロン）の見直しもはじめ、会員交流的な面を強めている。

以下は「たすけあいの会」が2007年度に行った事業の内容である。

- 【1】 地域活動では、まず地域ボランティア、障害者のホームヘルパーの派遣、ガイドヘルパーの派遣、日中活動の場「ぼちぼちはうす」の運営（障害者デイサービスとその他）を行った。

2007年度在宅サービス実績

	利用者数	回数	時間
ボランティア	1人	3回	
介護保険・訪問介護	0人	0回	0時間
居宅介護	3人	408回	1,029時間
移送車貸出（ボランティアによる有償運送含む）	1人	3回	
重度訪問介護	5人	445回	3,206時間
行動援護	3人	139回	515時間
移動支援	26人	548回	3,028時間
重度障害者等包括支援事業	5人		9,713時間
ぼちぼちはうす（障害者デイ）	13人	1,009回	5,750時間

次に交流活動として、在宅の老人・障害者・難病患者の交流会（在宅療養者交流会）を春・秋に開催した。今年度も月に1回のたすけあいサロン（ミニデイサービス）と月に1回の言語障害・失語症の方のミニデイサービスを開催した。

また、2006年度10月に開設した「だ・が・し・や」の運営を行った。

- 【2】 老人福祉施設への訪問活動は、寝屋川十字の園に11回、ロイヤルライフ・カミダに3回、輝きのまちケアハウス池田デイサービスセンターに12回訪問、活動した。また、めぐみデイサービスセンターに19回訪問した。老人保健施設松柏苑への活動はなかった。

行事援助活動も昨年に引き続き、定期的にめぐみデイサービスセンターよりイベント補助の依頼が入り、ロイヤルライフ・カミダ、輝きのまちケアハウス池田とともにお手伝いをさせていただいている。

また、引き続き寝屋川保健所の主催行事「ひまわり会」へのお手伝いも続けさせていただいている。

【3】需給・連絡調整活動では、主にボランティアやその他の受案件数が31件あった。また、地域生活支援センターでは、さまざまな相談を中心に相談と連絡調整で2141件の相談を行った。

【4】ボランティアへの援助としては、在宅サービス活動に参加するボランティアのためのケース検討会を開催した。

また、昨年度に引き続き、カンガルークラブへの支援を、寝屋川難病連絡会、障がい者の自立を考える会「やじろべー」への協力・援助を行った。

また、大阪ボランティア協会とろうきんのプロジェクトに協力した。

精神障害者地域交流事業「Club E&T」の事務局を引き受け活動の支援をした。

【5】教育活動では、寝屋川市社会福祉協議会の補助を受け、子どもの遊びボランティア講座を開催した。

【6】広報活動では、会誌「つなぐ」を6回発行した。

【7】その他、相談活動や調査活動、見学の受け入れなども行った。
介護保険サービス提供事業者の第三者委員に任命された。



「定期総会」

事業内容

【1】事業活動

1. 地域活動

(1) 在宅サービス活動

①在宅ボランティア活動

2007年度に「たすけあいの会」に寄せられた在宅ボランティアのニーズは12件であった。このうち3件に対応した。

ボランティアの依頼として入りながらも相談をしていくうちに、制度の適応ができるものも増えている。また、逆に介護保険制度の改正などで、制度内で対応できずボランティアとしての相談も増えてきている。しかし、そのほとんどは、有償のサービスの依頼であり、旧来のボランティア依頼はほとんどなくなっている。有償の依頼については、他団体を紹介している。

また、地域生活支援センターの生活支援での訪問は、ここにカウントはしていない。

また、会員さん同士の相互たすけあいの活動は、カウントしていない。

☆具体的な活動内容は以下のような内容である。

選挙投票への同行。

②移送サービス事業

9年前、市内の住民参加型在宅福祉サービスを手がけていた団体が解散することになり、その団体が日本財団から、もらいうけていたリフト付きの軽ワゴン車を譲渡されることになった。また、2001年2月には、新たに日本財団より車輜（マツダ・デミオ）の寄贈を受け、2003年2月に「24時間TV愛は地球を救う」よりハイエースの寄付を頂いた。2006年度初めに、会員より、中古乗用車（トヨタ・ラウム）を、2007年度に、新たに日本財団より軽車両（三菱ミニキャブ）を寄贈いただいた。合計現在5台の車輜を保有している。

以前より、病院などへの車での移送、送迎は在宅ケースとして対応していたが、車の譲渡を機に、リフト付き軽ワゴンの貸出およびこの車を利用した移送ボランティアによる移送を行っていた。しかし、国がNPO等による移送サービスの制度化を進めており、その動向を見ていくため、移送サービスそのものを休止した。

2005年度半ば、運営協議会の結成に伴い、NPO法人有償移送（いわゆる道路交通法80条適用移送＝現在は79条）の申請を行った。2007年度は3回の運行を行った。

その他、当会行事、当会事業、「ぼちぼちはうす」による運行を行っている。

③介護保険・訪問介護事業・居宅介護事業（身体介護・家事援助）【法人事業】

2000年度4月より、介護保険の訪問介護事業を基準該当サービス事業者として開始した。これまでの在宅ボランティア活動の延長として行い始めた。

さらに、2002年度より、精神障害者の居宅介護等事業をはじめた（法人事業）。2002年8月より、これまでの在宅ボランティア活動の延長として1ケースの派遣がはじまった。

2003年度より、身体障害、知的障害児者の制度が支援費制度になり、身体障害、知的障害児者のホームヘルプ（身体介護・家事援助）の事業も開始した。

2005年8月に介護保険の事業を基準該当ではなく、府の認可に変更した。（以降のケースはなく、休眠状態）

2007年度は、障害者自立支援法によるこれらの改正があり、現在は、居宅介護（身体、知的、精神、障害児）、重度訪問介護（全身性障害）、行動援護（知的、精神）、重度障害者等包括支援事業と、市の委託により移動支援事業を行っている。

④ガイドヘルパー派遣事業（居宅介護事業・移動介護）【法人事業】

2000年度8月より、全身性障害者と知的障害者の方のガイドヘルパーの利用を増やし、外出の機会を増やしていただくことを目的にガイドヘルパーステーション“HOT！”を開設し、ガイドヘルパーの紹介・調整を始めた。

2003年度より身体障害、知的障害児者の制度が支援費制度になり、身体障害、知的障害児者のホームヘルプ（身体介護・家事援助）の事業の中の移動介護区分に大枠が移行した。

2007年度の障害者自立支援法による制度改正により、移動支援事業として再編され、市の委託により実施している。

⑤日中活動の場「ぼちぼちはうす」【法人事業】

障害のある方の豊かな日中活動を行っていただく場として、「ぼちぼちはうす」を2000年10月より開設した。2003年度春に、障害者共同作業所の認可ではなく、寝屋川市の基準該当の身体障害者デイサービスとして運用することになった（1名の知的障害の方の相互利用を含む）。利用時間は10:00～16:00となっている。デイサービスの枠外として一時的な利用や時間延長の取り組みも行っている。

主な利用者は、いわゆる最重度の重複障害をお持ちの方が中心である。

2006年度は障害者自立支援法の影響を受け、それまでの「身体障害者デイサービス」が制度的に廃止され、存続の危機にあった。結果、上半期は「障害者デイサービス」として、下半期は「経過的デイサービス」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として、運営をした。下半期からは、精神障害者ユニットを開設した。

今年度＝2007年度より、市の委託事業として地域活動支援センターⅡ型として運営している。開設時間は9：50～16：10である。

見学・来訪者は80名、ボランティアはのべ73名であった。

2006年3月19日の毎日放送「映像06」でぼちぼちはうすが取材・放送された。

それに伴って行った存続・拡充のための寄付活動により、117人の方から288万2100円の寄付をいただいた。その寄付を活用して、従来のぼちぼちはうすの横を新たに借りあげ、改装し、「ぼちぼちはうす 新館」を開設した。

※法人事業の「ヘルパーステーションほっと」と「ぼちぼちはうす」の苦情解決第三者委員については、追手門学院大学講師の古川隆司さんをお願いしている。

⑥エルダーサロン

主にぼちぼちはうすを利用して、元気なお年寄りが集まることができる場所として、エルダーサロンを開催している。今年度は開催されなかった。

総計 0回 参加者のべ 0名

⑦「ゆと・りろ」（「ぼちぼちはうす」精神障害者ユニット）

「食事」を中心としたプログラム。メンバー間で献立を考え、買い出しをし、調理等も役割分担をするプログラム。仲間やボランティアも交えて楽しく美味しく食事を囲んで過ごす内容のもの。参加者は利用者証を申請していただき、その自己負担分を参加費として払っていただく。一人一人が役割を持ち自分らしいスタイルで過ごすことを目的に、2007年度より、ゆっくりとおやつを食べるサロン「甘味（あまみ）党の会」も新たにプログラム化し、地域活動支援センターⅡ型精神障害者ユニットとして改めてスタートした。

2008年度の活動内容は以下の通りである。

☆「ランチ王」	総計：51回	参加数：163名	*うち当事者90名
☆「ランチ皇子」	総計：37回	参加数：37名	*うち当事者37名
☆「甘味党の会」	総計：48回	参加数：137名	*うち当事者96名

（2）交流活動

1. 在宅療養者交流会

「たすけあいの会」では、1984年度より、在宅の寝たきり老人・障害者・難病患者等とその家族、およびボランティアの交流の場づくりを企画している。

2007年度の活動内容は以下の通りである。

☆	5月27日(日)	奈良公園	18名
☆	11月3日(土・祝)	京都七条界限	22名
☆	1月27日(日)	会員懇親会(ぼちぼちはうす新館)	20名
			総計 のべ 60名

2. たすけあいの会」では、1995年度より在宅のお年寄り・障害者・難病患者等の方々と買い物にいくプログラムを企画している。

2006年度より、多くの方がガイドヘルプで外出できるようになったこともあり、休止した。

3. たすけあいサロン(ミニデイサービス)

たすけあいの会では2000年度6月より、月に1度(第1土曜日)にめぐみデイサービスセンターをお借りして、ミニデイサービス(たすけあいサロン)を開催しはじめた。2001年度8月より場所を「ぼちぼちはうす」に変更し、続けている。

4月	8日(土)	6名
5月	6日(土)	6名
6月	3日(土)	7名
7月	1日(土)	9名
8月	5日(土)	8名
9月	2日(土)	8名
10月	14日(土)	7名
11月	25日(土)	8名
1月	6日(土)	6名
3月	3日(土)	7名
3月	31日(土)	8名

総計 のべ 80名

4. ビューロー交流活動

ビューローを使って、会員・非会員にかかわらず地域のさまざまな人が交流できる場として単発イベント「ぼちぼちの会」と布ぞうり講習会して開催した。

☆6月28日(木) 田中さんのベトナムおしゃべりクッキング

参加者7名

☆8月26日(日) ぼちぼちの会「じぶんを語る～さまざまな出会いから～」

話し手：趙喜蓮氏 参加者15名

☆9月21日(金) 「布ぞうり講習会」

講師：池条ハル子さん 参加者2名

総計 のべ 24名

5. 寝屋川さくらんぼの会ミニデイサービス

失語症ライブの同窓会を元に言語障害、失語症を持つ人たちの会「寝屋川さくらんぼの会」の運営への協力と各交流事業への参加を行った。さらに2001年度11月からは、めぐみデイサービスセンターにて言語聴覚士の方の協力を得、月に1度（第3土曜日）にミニデイサービスを行っている。現在は、場所を保健福祉センターに変え、言語聴覚士の専門学校生のボランティアの協力を得ながら活動を行っている。

4月21日（土）	参加者5名	家族名	ボランティア	9名
5月19日（土）	参加者3名	家族名	ボランティア	16名
6月16日（土）	参加者5名	家族名	ボランティア	16名
7月21日（土）	参加者5名	家族名	ボランティア	14名
8月18日（土）	参加者4名	家族名	ボランティア	14名
9月15日（土）	参加者4名	家族1名	ボランティア	10名
10月20日（土）	参加者4名	家族1名	ボランティア	14名
11月17日（土）	参加者4名	家族1名	ボランティア	11名
12月15日（土）	参加者3名	家族名	ボランティア	10名
1月19日（土）	参加者3名	家族1名	ボランティア	8名
2月16日（土）	参加者4名	家族1名	ボランティア	14名
3月15日（土）	参加者3名	家族名	ボランティア	9名
総計	のべ参加者47名	家族5名	ボランティア	145名

6. びっくりおもちゃ箱の開催

たすけあいの会が以前行っていた障害児の遊びのプログラム。ボランティアと障害児の遊びのプログラムとして、関係機関・学校に広報し行った。

2005年度まで3年間行っていたが、いろいろなニーズや方向性を検討し、2006年度は、開催しなかった。

しかし、2007年度は、久しぶりの出会いと新しい出会いをテーマに、夏休みのプログラムとして改めて開催した。

メンバー7名（初参加4名、OB 3名）ボランティア14名が参加をした。

7. そろども (SOL DE DOMINGO) の開催

障害の有無にかかわらず、地域子どもたちとボランティアと一緒に遊ぶ活動を2006年10月より開始。2007年度の登録メンバーは5名。毎月第1日曜日に「すだち」を拠点に活動を行っている。

4月	1日 (日)	メンバー4名	ボランティア	9名
5月	6日 (日)	メンバー4名	ボランティア	7名
6月	3日 (日)	メンバー3名	ボランティア	10名
7月	1日 (日)	メンバー5名	ボランティア	10名
8月	5日 (日) ~ 6日 (月)			
		メンバー5名	ボランティア	8名
9月	2日 (日)	メンバー5名	ボランティア	10名
10月	7日 (日)	メンバー5名	ボランティア	11名
11月	4日 (日)	メンバー4名	ボランティア	8名
12月	2日 (日)	メンバー3名	ボランティア	11名
1月	6日 (日)	メンバー3名	ボランティア	7名
2月	3日 (日)	メンバー1名	ボランティア	6名
3月	2日 (日)	メンバー3名	ボランティア	9名
		総計	のべメンバー45名	ボランティア106名

☆遊びボランティア・オリエンテーション

遊びのワークショップ、そろどみの活動紹介、ビデオ紹介などを行った。

7月16日 (月・祝) 参加者7名

☆研修：そろどもリーダートレーニングを開催

2月 2日 (土) 参加者 15名

2月 3日 (日) 参加者 17名

総計 のべ参加者32名

8. 「だ・が・し・や」の運営

2006年度、医療福祉機構の助成金を利用して開設をした「だ・が・し・や」。助成金の期間終了後も継続して開店している。障害当事者のボランティアと、ボランティアで開店をしている (開店は不定期)。

(3) 福祉施設への訪問活動

1. 特別養護老人ホーム寝屋川十字の園

「たすけあいの会」では、昭和53年より毎月1回（第3火曜日）、市内の特別養護老人ホームを訪問し、清掃、縫製、お年寄りの話し相手・代筆等の活動を行っている。2007年度の活動は、以下の通りである。

	日 時	活 動 内 容	参加数
1	4/17 10時～12時	前開きの下着シャツをミシンで縫う。 雑巾を作る。古着の裁断。	4名
2	5/15 10時～12時	座薬を使いやすいよう工夫する作業をおこなう。	6名
3	6/19 10時～12時	医療用ガーゼを用途別のサイズに折って箱に詰める。	4名
4	7/17 10時～12時	タオルを3種類の大きさに折り、端ミシンをかける。	5名
5	9/18 10時～12時	座薬を使いやすいよう工夫する作業をおこなう。	5名
6	10/16 10時～12時	医療用ガーゼを用途別のサイズに折って箱に詰める。古着の裁断。	4名
7	11/20 10時～12時	医療用ガーゼを用途別のサイズに折って箱に詰める。古着の裁断。	4名
8	12/18 10時～12時	蛍光灯の清掃（2階の入居者部屋・トイレ・踊り場・廊下・食堂等）、窓ガラス拭き。	7名
9	1/15 10時～12時	座薬を使いやすいよう工夫する作業をおこなう。	3名
10	2/19 10時～12時	医療用ガーゼを用途別のサイズに折って箱に詰める。古着の裁断。	5名
11	3/18 10時～12時	医療用ガーゼを用途別のサイズに折って箱に詰める。カレンダー裏利用してラベル作り。	4名

計 のべ51名

2. ケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」

たすけあいの会では、1994年3月より市内のケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」への訪問を開始し、施設の清掃、デイサービスの補助、散歩、買い物の介助などを行っている。主に、木曜日は施設内の清掃、金曜日はデイサービスの補助を行っている。年々、活動は停滞しており、現在は定例では訪問できていない。

2007年度は総計3回、ボランティアは合計のべ3名であった。

3. デイサービスセンター輝きのまち（ケアハウス池田）

たすけあいの会では、1996年度の10月より市内のケアハウス「輝きのまちケアハウス池田」併設のデイサービスセンターへの訪問を開始し、週1回木曜日に特別浴の着脱のお手伝いを行っている。また、1997年度10月より月曜日にもデイサービスのお手伝いを行っている。

2007年度は月曜日のみで総計12回、ボランティアは合計のべ12名が訪問を行っている。

4. 老人保健施設「松柏苑」

たすけあいの会では、1998年度の5月より市内の小松病院に併設・建設された老人保健施設「松柏苑」への訪問を開始し、利用者の方の入浴後のお手伝いを週2回行っている。

2007年度は訪問なし。

5. めぐみデイサービスセンター

市内のデイサービスセンター。これまでもいろいろなつながりがあったが、昨年度半ばに、新たに定例の訪問の依頼があり、隔週金曜日、訪問・活動を行った。

総計19回、ボランティアは合計のべ31名。

（4）行事援助活動

1. 福祉施設行事活動への協力

a) めぐみデイサービスセンター

市内のデイサービスセンターの行事援助を行っている。

外出プログラム 10月29日～ 5回 11名

（アルプラザへ） 11月2日

合計 5回 のべ 11名

b) ロイヤルライフカミダ

①大掃除	6月28日	1回 3名
②ロイヤル祭	9月 9日	1回11名
③大掃除	12月 6日	1回 4名
		<u>合計 3回 のべ17名</u>

c) 輝きのまち「イケダ」

ふれあい祭	9月1日	1回 4名
		<u>合計 1回 のべ 4名</u>

総計 9回 のべ32名

2. 寝屋川保健所主催行事への協力

☆神経系難病者交流会「ひまわり会」への参加

月に1回開かれる大阪府寝屋川保健所主催の「ひまわり会」でボランティアとしてお手伝いさせていただいた。合計12回 のべ15名

☆痴呆性老人家族の会「ほほえみ会」への参加

隔月に1度開かれる大阪府寝屋川保健所主催の痴呆性老人家族の会「ほほえみ会」でボランティアとしてお手伝いさせていただいてきたが、ボランティアの役割は終了したと協議し、2007年度はじめで、ボランティアとしての参加は終了した。計1回、1名

3. 当事者団体などへの協力

(1) 寝屋川難病連絡会

10月28日(日)に行われた寝屋川難病連絡会第13回総会にボランティアとして2名がお手伝いさせていただいた。

大阪難病連絡会医療相談会が、3月23日(日)に寝屋川市で行われた。当日3名がボランティアとしてお手伝いさせていただいた。

(2) 精神障害者地域交流事業への協力

精神障害者地域交流事業を行っている「Club E&T」(旧ひなたぼっこの会)の運営への協力と各交流事業へ参加した。事務局も昨年に引き続き担当。月に1

回定例で運営委員会も行われている。

2007年度のClub E&Tの活動

- ① Club E&T 運営委員会 (関係機関が集まって会議)
開催数：11回 参加数：86名 *うち当事者0人
 - ② ふれあいの会
 - 1) 会議・イベント (当事者が中心に会議やイベントを企画し開催する場)
開催数：12回 参加数：142名 *うち当事者128人
 - 2) チラシ編集会 (広報活動。イベント案内やチラシの作成をする会)
開催数：12回 参加数：41名 *うち当事者24人
 - 3) 事前準備 (イベント前日に行う下準備)
開催数：3回 参加数6名 *うち当事者3名
 - ④ 語り部プロジェクト (当事者講師派遣事業「出前はあと」講演・交流会)
日時：8月22日 場所：寝屋川市障害者地域生活支援センターあおぞら
参加数：21名 *うち当事者10名
 - ⑤ こころの健康講演会 (「よいねむりのコツ」について講演会)
講師：渡辺 琢也氏 (大阪府こころの健康総合センター)
日時：2月2日 場所：寝屋川市立保健福祉センター多目的室
参加数：45名
 - ⑥ 就労のつどい (現在就労している、また就労を希望するひとが集い交流をする場)
 - 1) 日時：10月6日 場所：寝屋川市産業振興センター 第1セミナー室
参加数：35名 *うち当事者26名
 - 2) 日時：3月16日 場所：寝屋川市産業振興センター 第1セミナー室
参加数：30名 *うち当事者22名
 - ⑦ 春の遠足 (大阪「海遊館」への見学)
日時：3月23日 場所：海遊館 参加数：21名 *うち当事者14名
- 総計 のべ427名 (*うち当事者数237名)

(5) 健康相談活動

「たすけあいの会」では、昭和61年度10月より週1回(水曜日)、医師による健康相談日を設けていたが、1996年度からは月1回テーマを決め「健康塾」として開催し、広く会員、一般市民の健康に関する相談を受け、また学習

した。 *2007年度は実施せず

(6) 入浴サービス活動

「ぽかぽか・ゆったり・いい湯だな事業」

めぐみデイサービスセンターのお風呂を開放していただき、当会が介護し、在宅の療養者に入浴をしていただく事業。1996年度に調整や取り決めを主に行い、96年度末からの継続の1ケースを実施、97年度末にも依頼が入り、継続して対応した。2007年度は行われず。



「そるどみ」

2. 需給・連絡調整・相談活動

(1) 需給調整

	V求む	Vしたい	一般相談	その他	計
受付件数	19	12			31

*ボランティア求むには、はじめはボランティアがほしいという相談であっても、その後、制度、サービスにつないだものもふくむ。

*在宅ケース受理に際しては、「家庭訪問」を行い、ニーズの的確な把握とボランティアの役割の明確化、及び受け入れ側のボランティアの理解を深めた。また、制度・サービスにつなげるものについてはつないだ。

(2) 連絡調整

(1) 合同ケース検討会(またはケア会議)開催の呼びかけと参加

ケースの検討をめぐって、保健所、福祉事務所、ボランティアセンター、社会福祉施設、子ども家庭センター、それにケースにかかわるボランティア、サービス提供機関など関係者が協議した。サービス提供のケースがほとんどであり、介護保険、障害者自立支援法に位置づけられたこともあり、頻回に行われている。

(2) 在宅難病患者地域ケア推進会議

寝屋川市内の在宅難病患者の地域ケアにかかわる関係機関の職員によって行われる在宅難病患者地域ケア推進会議に出席した。

(3) 精神障害者自立支援会議

精神病院への入院が長期化している精神障害者に対し、保健・医療・福祉の関係機関が連携して支援計画を樹立し、退院・地域での自立を支援する方策や地域システムを検討をする会議。以前行われていた精神保健福祉合同委員会を吸収するような形で行われている。

(4) ボランティア連絡協議会

寝屋川ボランティアセンターの登録グループの連絡協議会へ参加。ボランティアセンター、他のグループとの相互理解・情報交換を進めた。

(5) 寝屋川市就業・生活支援準備センター運営委員会・実務者連絡会

今年度から寝屋川市が新規で立ち上げた障害者の就業、雇用を支援するためのセンターづくりの事業。委託先は隆光学園。障害者生活支援センターとして、運営委員会と月に1回の実務者会議に参加した。

(3) 相談活動

1) シニアサポートセンターめぐみの第三者委員に任命されている。

2) 寝屋川市障害者生活支援事業の委託運営

2002年度より、寝屋川市より市町村障害者生活支援事業の委託を受け、寝屋川市民たすけあいの会地域生活支援センターを運営している。制度の改正に伴い、10月からは、大阪府の指定相談支援事業所となり、また、寝屋川市の委託相談支援事業所になった。

難病者ピアカウンセリング・・・毎日

視覚障害者ピアカウンセリング・・・毎月第4土曜日

肢体不自由者ピアカウンセリング・・・週3日

聴覚障害者ピアカウンセリング・・・聴覚言語部会の取り組みに下半期から補助。月1～2回の月曜日

※ 障害者相談支援員初級研修を1名が受講した。

※ 当事者スタッフが中心となり、自立生活プログラム (ILP) 10回シリーズを開催した。参加者は5名であった。

総合相談件数/連絡調整件数

2141件

3) 地域自立支援協議会への参加

障害者自立支援法に規定された障害者福祉全体のことを考える協議会。2007年3月28日に立ち上げされた。協議会の委員として参画している。

4) 寝屋川市障害者長期計画策定協議会への参加

障害者基本法に位置付けられた寝屋川市障害者長期計画の策定協議会に推薦、参画した。

5) 障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣

障害者自立支援法の介護給付のサービスを受けるにあたり、認定審査をうける必要がある。二次審査として審査会が設置され、その審査員としてスタッフを派遣している。

6) 社会的ひきこもり社会参加グループ支援モデル事業

府要項より「目的：社会的ひきこもりの支援のためには、社会参加のための練習の場を確保することが必要であるが、特に成人の社会的ひきこもり当事者が身近に利用できる福祉サービスが不足していることから、精神障害者地域生活支援センターなどに社会的ひきこもり専門支援機能を付加し、社会的ひきこもり社会参加支援グループ事業を実施する。」

昨年度より、府内2カ所で行われているこのモデル事業の1カ所を委託をうけ実施している。社会的ひきこもりネットワーク会議からの推薦で7名の方の支援を行った。モデル事業は、2007年度で終了。

3. ボランティアへの援助

(1) ケース検討会の開催

「たすけあいの会」では、在宅サービス活動に関わるボランティアへのフォロー・アップとして、毎月ケース検討会を開催している。個々のケースについてのボランティア相互の意見交換と、コンサルタントによる専門的助言を通して、活動の円滑な推進をはかった。また、関係機関との連絡調整の場にもなっている。

内容は以下の通りである。

	日時	活動内容	参加IV	関係機関からの参加・コンサルタント
1	4/23 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて 個人情報保護法について	9名	安川CW (小松病院)
2	5/28 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	9名	安川CW (小松病院)、浦田PHN
3	6/25 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	8名	安川CW (小松病院)
4	7/30 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	8名	安川CW (小松病院)、小牧Ns
5	8/27 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	8名	安川CW (小松病院)
6	10/1 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	7名	坂崎PHN (寝屋川保健所)
7	10/22 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	7名	安川CW (小松病院)
8	11/26 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	6名	

9	12/17 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	10名	
10	1/28 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	8名	
11	2/25 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	9名	安川CW (小松病院) 、坂崎PHN (寝屋川保健所)
12	3/24 14:00ー 16:30	継続ケースの報告と助言 新規ケースについて	10名	安川CW (小松病院)

★CW…ケースワーカーの略。PHN…保健師の略。CM…ケアマネージャーの略。

(2) グループ援助活動 (当事者団体支援)

* カンガルー倶楽部

1992年10月「子育てのお母さんたちへ」の講演会を機に発足。若いお母さんたちのグループ。

毎週1回、子どもたちの遊び、お母さん同士の交流を中心に活動が続いている。また、会報も発行している。

ビューローとしては連絡調整、会場・備品の提供などをおこなっている。

* 寝屋川難病連絡会

96年度の5月12日に、市内の難病団体および難病者のための寝屋川難病連絡会の発足総会が行われた。また月1回の運営委員会が行われている。当会はその事務局として、連絡調整、広報、会場・備品の提供などを行っている。

* 障がい者の自立を考える会「やじろべー」

車いす利用者の4名を中心に自分たちの自立生活を考える会として発足。障害者自立に関することを考えながら、特に余暇的な活動を中心にされている。

(3) ろうきんパートナーシップ

大阪ボランティア協会と労働金庫が共催しているボランティア推進プログラムの受け入れ先を7年前から行っていたが、今年度も受入はなかった。

4. 教育・啓発活動

【1】子どもの遊びボランティア講座1

場 所：ぼちぼちはうす新館

日 時：2007年12月16日（日）13時半～15時半

講 師：酒井 妙子氏（手づくりほいく研究会）

参加者：19名

【2】子どもの遊びボランティア講座2

場 所：にぎわい創造館

日 時：2008年1月15日（火）19時～21時

講 師：吹田光弘氏（日本ライフセービング協会 インストラクター）

参加者：14名

5. 広報活動

（1）会誌「つなぐ」の発行 6回

* B5版、手書き、10ページ 1000部（隔月刊）

* 「つなぐ」編集委員会の開催

★身体障害者刊行物協会の出版として第3種郵便物として発行

（2）広報一般

* 会の動きやボランティア募集記事、講演会の案内などを、「広報ねやがわ」、「サンケイリビング京阪」、情報誌「ぱど」、大阪ボランティア協会を通じての新聞、読売新聞・毎日新聞のボランティア欄、全国新聞などに随時掲載した。

（3）ホームページの公開

<http://homepage3.nifty.com/neyagawatasukeai>

6. 見学・来訪・交流、調査の依頼、実習生の受入

（1）見学・来訪・交流

ビューローに訪れた方 のべ573人

（2）調査・取材の依頼

調査については略

取材はなし

（3）実習生・インターシップの受入

大阪国際大学よりインターンシップ1名

7. 調査・研究活動

活動なし

【2】組織と運営

1. 会 員

(1) 会員数=会費納入者

2008年3月末現在

	個人会員	団体会員	注) 数字のカウントの仕方
06年度までの会員	201名	22名	→2006年度会費納入者数
07年度 加入者	31名	6名	→新規および復活者数
07年度 退会者	46名	8名	→退会および2007年度未入者数
会員数	186名	20名	→2007年会費納入者数
総会員数	206名		

(2) 会員へのサービス

- 1) 会誌「つなぐ」の送付 6回
- 2) ボランティア保険への加入 (一部会員のみ、会費より)

(3) 会員交流会=「コスモス」

日時 6月30日 (土)

場所 天満橋よりアクアライナーに乗って周遊後京阪シティモールにて食事
参加者 10名

(4) 会員研修

- 1) 9月14日 (金) JHC板橋 参加者 1名

2. 組織活動 (敬称略)

(1) 定期総会

日 時 2007年5月13日 (日) 10:45~12:10

場 所 ぼちぼちはうす

- 議 題
- 1) 2006年度事業報告及び決算報告の審議・承認
 - 2) 2007年度事業計画及び予算計画の審議・承認
 - 3) 2007年度役員選出
 - 4) 特定非営利活動法人 寝屋川市民たすけあいの会地域ケアセンター 2006年度事業報告および2007年事業計画

出席者 139名 (委任状提出者102名、非会員6名を含む)

(2) 運営委員会 毎月第1月曜日 13:30~16:30

運営委員: 黒田民子、上野谷加代子、田中哲次郎、別所訓子、中尾京子、西尾美津子、橋本義郎、森川加代、村井謙太、守本友美

主な議事 事業の企画と調整
財政問題等

(3) 事務局

事務局体制 事務局・有償ボランティア 毎週金曜日
事務局・無償ボランティア 毎週火曜日
ビューロー開館 月～金曜日 10～17時

(4) 職員

2007年度の常勤職員。

村井謙太、富田昌吾、中務飛鳥、福井美奈子、西岡寛信、吉田智里、
花戸音羽、山野仁美、藤本祥平、大村静香、山田久美子(2007年12月より)、
三国洋子・近藤由美子(常勤ヘルパー)、長渡信博、(2007年11月にて退職)、

3. 財源の確保

(1) 会員及び寄付(略)

寄付者の数

(2) バザーの開催

A) ぼちぼちバザール(主催:6団体の参加)

日にち:7月8日(日)

場 所:総合センター1階

売 上:86,345円

当日のボランティア13名

B) ロイヤル祭

日にち:9月9日(日)

場 所:ロイヤルライフ・カミダ

売 上:8,410円

たこ焼きの売り上げ15,350円寄付頂きました

C) エコ・フェスタ

日にち:11月18日(日)

場 所:打上川池水緑地公園

売 上:20,260円

(3) 特別事業

1) 印刷事業

95年度より、大阪府福祉基金により購入した印刷機を利用し、印刷事業を行なっている。2003年印刷機を買い換えた。

2) イオンの行っているイエローレシートキャンペーンに参加した。

3) ペパーミント・ウェーブ賞のヤンセンファーマー特別賞を受賞し、副賞で10万円をいただいた。



「ぼちぼちの会」